

きめる、 うごく、 こ 東北から



今年の日本女性会議は、「きめる、うごく、東北(ここ)から」をテーマに、ノルウェー王国大使館の特別協力のもと実施されました。

1日目は、内閣府の基調報告の他、特別プログラム「女性たちが語る3.11～これまでと今と」を実施しました。宮城、岩手、福島、それぞれの被災地で支援にかかわった女性たちが、全国に向けて現状と課題及び支援の多様性が大切であると発信しました。

2日目は、ノルウェー王国国会議員のアネッテさんの記念講演が行われました。ノルウェーでは1981年に初の女性首相が誕生

し、女性の意思決定の場への参画が進みました。また、クォータ制(※)が導入されて公的審議会・理事会・委員会は女性が40%以上を占めると紹介しました。さらに、社会的混乱のあるノルウェーも、震災から立ち上がろうとする東北も、これまで以上に女性が復興を担うことが重要だと話しました。

シンポジウムでは、震災前よりもさらに良い社会をつくりあげてこそ真の復興ととらえ、「女性たちには社会を変える力も責任もある」ことを被災地東北から発信しようと話し合いました。

クォータ制 (役職の割り当て制度)

国会議員などの公的機関で行われることが多く、議員数におけるクォータ制の例では、フランスのように法律で女性候補者を割り当てる制度、ノルウェーやスウェーデンのように、政党が自発的に候補者に占める女性の割合を一定にする制度などがある。

転入女性交流のつどい

第1回目 2012年10月23日(火) 第2回目 2013年2月19日(火)

ようこそ！いわき市へ



第1回目は、転入女性交流のつどいバスツアーが行われました。いわき市に転入して3年以内の女性7名と子ども2名の計9名が参加して、JAいわき市でお米の検査場を見学したり、いわきかまぼこ工房でかまぼこアートと竹ちくわづくりを体験しました。

第2回目は、交流会を開催し、いわきの良さをPRし、いわきの生活に役立つ情報交換を行いました。

男女共同参画推進ブラッシュアップセミナー

2012年9月3日(月) / 総合保健福祉センター

東日本大震災復興を目指し、いわきでこれからの男女共同参画社会の実現に向けてブラッシュアップセミナーが開催されました。

二瓶先生が、「チェルノブイリから学ぶ～放射能と向き合い福島で生きる～」と題し講演をしました。



二瓶 由美子 (にへい ゆみこ) さん

[桜の聖母短期大学キャリア教養学科長・准教授
いわき市男女共同参画推進アドバイザー]

